

## 鳥取労働局長が事業場を視察

鳥取労働局長(内田敏之)は、全国労働衛生週間(本週間:10/1~10/7、準備月間:9/1~9/30)の期間中である10月3日(火)に、米菓、ゼリー、羊羹などの製造を行っている、株式会社源吉兆庵(鳥取市南吉方:労働者数約110名)を訪問しました。

この視察では、鳥取労働局長が挨拶を行った後、岡田武夫執行役員工場長から事業場の概要説明を受け、工場内を巡回しました。

工場内の製造設備は整理整頓が行き届いており、ヒヤリハット事例、熱中症対策の掲示が行われていましたが、日頃から、労働者の健康管理をサポートできる施設として、休憩室や医務室が設置されており、岡田工場長からは、製造工程に携わる労働者が熱中症にならないような対策



視察の冒頭挨拶をする鳥取労働局長

として、給水設備の設置や塩飴を自由に摂れるようにしているとの説明を受けました。

また、岡田工場長より、「工場内の床は、転倒防止のため、表面がざらざらした滑りにくい素材です。

工場が稼働して約1年経ちますが、一度も転倒災害はありません。」と説明がありました。



説明を行う岡田工場長(写真中央)

視察後の意見交換では、鳥取労働局側から「工場内の衛生管理は行き届いている。」「安全通路の確保を十分にやっている。」との評価があり、岡田工場長から「労働者の立ち仕事が多く、腰痛対策として、腰痛ベルトを無料貸与し、労働者から腰が楽になったと喜ばれている。」などの説明がありました。

鳥取労働局では、今回の視察を通じて得た情報を県内の事業場にも紹介して、治療と仕事の両立支援、化学物質による健康障害やメンタルヘルス対策、過重労働による健康障害防止など労働者の健康管理対策を展開していきたいと考えています。



視察後に講評を行う鳥取労働局長(写真中央)